

## H. P. Report

## ちょっと考えたこと

21世紀が始まり、インターネットがだいぶ普及してeビジネス、電子メールが花盛りになってきています。しかし、その一方でこの波についていけないということで「情報弱者」という言葉も生まれています。いろいろなものがインターネットを含めたネットワーク上にのり、今まで人が介在して行っていたいろいろなことが自動化され、24時間365日いつでもどこでもという環境ができつつあります。その中でその流れに乗れない人は出てくるでしょうし、いろいろと問題となっていくのかもしれないかもしれません。これまでも自動販売機、自動改札機、自動支払機などの登場によりそれをつかえない人（自動販売機を使えない人はいないかも・・・）もいたでしょうし、いろいろなところでもたっている光景も見たものです。これらのものはごく一部で使われているもので、生活をしていく上ではそれほど支障がないためか問題ともなっていませんでした。それに対してインターネットは、その中にいろいろなものが乗っていく可能性があります。デパートばかりか一般の酒屋、八百屋までがインターネットショッピングをやり、音楽のオンライン配信、書籍のオンラインショッピングなど始まっています。直接消費者に販売となるわけですがコスト削減となり、これまでの販売が太刀打ちできなくなる可能性すらあります。そうなると極端な場合インターネットを利用しなければ物が買えなくなることにもなりかねません。町の商店が消え、スーパーや大型小売店となり、コンビニ花盛りとなったようにいろいろなものが繁栄した消えていくのは時代の流れなのかもしれません。しかし、その中で情報弱者と呼ばれる人は本当に弱者なののでしょうか。確かにいろいろな情報が大量に流れてきます。その情報の中から必要なものを選び出し、自由に扱えるようになれば便利にはなるでしょうし、いわば最先端の生活ができるのかもしれないかもしれません。しかし、そんな大量の情報が必要なのでしょうか。それがなければ生活できないのでしょうか。いろいろなものが回りにあふれていることが豊かな生活なののでしょうか。それは情報化の波の中で流されてしまっている人の見方のような気がします。インターネットになじめない人をそのままにしておいてもいいというわけではないのですが、それらの人を情報弱者とって何とかしなければならぬ、問題だ、対策をとらなければと騒ぎ立てるのはどういふものなのでしょうか。当人にとっては大きなお世話なのかもしれません。未開の地の原住民に対し教育をしなければ、定住させなければというのと同じで、そうすることが本当の幸福になるのかについて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。時間の進み方はそれぞれの人によって違っていいのではないのでしょうか。

このごろなんだか平均的な生活がいいような考えがあるような気がします。隣がやっているから、隣と同じぐらいにならなければ。がむしゃらに仕事をして、気づいてみれば時間だけが過ぎていっている。以前開発途上国へ工場を移転することは、大変な仕事をやらせて富だけを吸い上げているようなもので問題があるといった若い（若い）記者に質問されたことがあります。その考えも先進国（こういうのも変ですか）にいる立場であるからの考えかたです。幸福とは何なのか、豊かということはどういうことなのか。情報弱者は本当に幸福になれるのか。今一度考えてみたいと思っています。

21世紀になって第2回目はなんだかわからない内容になっていますが、いろいろなことが猛スピードで変化してしまい、なんだか大事なことがあるような気がして書いてみました。やっぱり年ですか・・・

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 1月15日号

特集 ケータイ世界制覇

→2年前に始まったiモード。一気に携帯端末となったケータイが、世界への進出を図っている。iモード普及の理由と世界進出のドコモの目的は。

○日経パソコン 1月8日号

特集 検索エンジン活用大全

→膨大なインターネットの情報の中から必要なものを選び出すために使う検索サイト。今注目されているのが「Google」。膨大なデータベースを備え、高速検索が行え、検索結果の表示順序が的確などの特徴がある。さらに検索サイトを使うテクニックは。

特集 日本を抜き去るアジアIT事情

→回線速度が遅い、回線費用が高いなどといっているうちにアジアに抜かれようとしている。高速ネットADSLが普及する勧告、行政サービスをインターネットで行うシンガポールなどアジア諸国のITの現状は。

○日経オープンシステム 1月号

特集 新技術が変える企業システム構築

→企業システムは社外との連携を強めるために24時間365日稼働が求められるようになってきた。それに対応した新技術、新サービスが登場し、過酷なニーズに対応できるようになってきている。

検証 ハードとソフトの違いによるデータベースの性能差

→ハードウェアやデータベースソフトのバージョンによる性能差は大きい。クラウドにハードを増設しても効果は小さい。ボトルネックを見極めたうえでピンポイントによる増強が効果的。

解説 ユーザ現場に見るWindows端末の実力

→処理をサーバですべて行い、端末はキーボード、マウスの入力と変更部分の画面表示のみを行うWindows端末。処理も複数のサーバで行うことによって動的な負荷変化に対応できる。管理がし易いが、アプリケーションの変更に課題も残る。

○日経ネットビジネス 2月号

特集 21世紀のBtoCを展望する

→一般向けeビジネス「BtoC」。市場規模は毎年倍々になっているが、本格的に普及しているわけではなく企業の売上の一部でしかない。今後の対応について検討をはじめた企業もあり、2000年の検証と2001年への展望は。

○DOS/V magazine 2月1日号

特集 作る21世紀型ニューマシン

→21世紀型のマシンとはどういうものなのか。自宅で使うコンパクト21世紀型マシンの自作講座。

特集 PCトラブルシューター

→パソコンに関するトラブルをハードウェア、OS、ネットワークに分け

て特集。簡単な内容ではなくどちらかといえばマニアックな内容。

特集 逆襲のN e t s c a p e 6

→圧倒的なシェアをもつI Eに対抗すべく登場したN e t s c a p e 6。  
少ないメモリで高速化され、オープンなW e bブラウザエンジンが採用  
され、ツールや機能が強力になっている。

企画 賢いフリーメール併用術

→フリーメールサービスの提供数が爆発的に増えている。個人でいろいろ  
な目的に使うためにフリーメールを利用するのは有効だが、サービスに  
よってその内容は異なることに注意し、利用形態に合わせたメールサー  
ビスを選ぶポイントを解説。